2025年度事業報告書

及び附属明細書

自　2025（令和7）年4月　1日

至　2026（令和8）年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

公益財団法人　笹 川 音 楽 財 団

目　次

I　概　要 1
II 公益目的事業「楽器の貸与事業を通した音楽文化の振興・普及」 2
1．楽器の保全 2
2．楽器の貸与 3
3．演奏会の開催 8
4．音楽文化振興・普及のための助成 15
5．広報活動 18
III 総　務 20
1．役員の異動 20
2．理事会 20
3．評議員会 21
4．評議員選任委員会（決議の省略） 21
5．監事監査 21
6．登記事項 22
7．主務大臣（内閣府）への届出等 22
8．外部監査の実施 22
9．広報活動「ランチタイムコンサートの開催」 22
10．事務局 24

[巻末別紙]
1．理事・監事・評議員名簿 25
2．委員名簿 26
3．保有楽器概要 27
4．楽器名と被貸与者一覧 32

I 概　要

当財団は、1974 年 3 月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立し、1994 年からは、ストラディヴァリウス等の弦楽器名器の貸与を中心とする事業を実施している。2012 年 4 月に公益財団法人へ移行し、公益目的事業「楽器の貸与事業を通した音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成の 4 つの柱を置いて事業を推進している。

2025 年 12 月 15 日付で、法人名称を「公益財団法人日本音楽財団」から「公益財団法人笹川音楽財団」に変更した。

2026 年 2 月に、Stradivarius 1666 年製 Violin “Alumnus Amati”「アルムヌス・アマティ」を購入し、基本財産（公益目的事業を行うための不可欠特定財産）に繰入れた。

2026 年 3 月末現在、ストラディヴァリウス 20 挺（ヴァイオリン 16 挺、チェロ 3 挺、ヴィオラ 1 挺）、グァルネリ・デル・ジェズ・ヴァイオリン 2 挺、計 22 挺の弦楽器名器を保有し、無償で演奏家に貸与している。

すべての事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保全

（1）楽器の保守管理

保有する弦楽器は、当財団の指定楽器工房において定期的に修理やメンテナンスを実施した。

（2）楽器への保険の付保

万が一の事故に備え、保有する弦楽器は、日本の保険会社 2 社を通じて楽器保険を付保した。

（3）ATA カルネ

楽器を国外へ持ち出す際には、海外の税関で免税扱いの一時輸入通関ができる ATA カルネの携帯を義務付けている。

2. 楽器の貸与

保有する弦楽器は、若手有望演奏家を中心に、国籍を問わず無償で貸与している。

3. 演奏会の開催

本年度は、（1）演奏会の定期開催、（2）全国の自治体が保有するホールとの共同事業、（3）千葉県文化振興財団との共同事業、（4）全国のオーケストラとの共同事業、（5）広報事業、（6）協力事業の 6 つの柱のもとに 15 公演を実施した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

非営利活動・公益事業を行う団体に対して、助成対象を「弦楽器演奏において音楽的、技術的向上を目的とする事業」、「より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業」を対象として公募し、事業運営委員会で採択された 13 事業に対して助成した。

II 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通した音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

2026 年 2 月に Stradivarius 1666 年製 Violin “Alumnus Amati”「アルムヌス・アマティ」を入手し、当財団が保有する弦楽器はストラディヴァリウス 20 挺（ヴァイオリン 16 挺、ヴィオラ 1 挺、チェロ 3 挺）、グァルネリ・デル・ジェズ・ヴァイオリン 2 挺、計 22 挺となった。詳細は巻末別紙 3 のとおり。

楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに習熟している楽器工房を指定し実施しており、各被貸与者には、3 ヶ月に 1 回のコンディション・チェックを義務付けている。定期チェック及び修理にかかる費用は当財団が全て負担することで、楽器の修理・調整に関する記録を全て管理・保管し、楽器の状態把握に努めている。

ワシントン条約・CITES（Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora：絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約）の規制により、特にアメリカ合衆国で通関ができない事例が発生していたため、当財団では全ての保有楽器に対して当財団の指定楽器工房によりワシントン条約・CITES 適用除外証明書（Declaration of Materials）を発行し、被貸与者には楽器と共に常に携帯することを義務付けている。

保有楽器は製作後 300 年以上が経過し、大規模な修理が必要な楽器も出てきていることから、これに対応するため特定費用準備資金（大規模楽器修理）を積み立てている。

(2) 楽器への保険の付保

保有する全ての楽器に保険を付保し、当財団が保険料の全額を支払っている。東京海上日動火災保険（株）と三井住友海上火災保険（株）の 2 社で楽器保険を付保した。

(3) ATA カルネ*

被貸与者等が当財団保有の楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネの携帯を義務付け、ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約（ATA 条約）」に基づく一時免税通関手帳。外国へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

(4) 弦楽器市場の調査

楽器貸与事業に見合う弦楽器入手に向けて弦楽器の市場調査を実施した。

2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器を、国際的な活躍を目指す若手演奏家に国籍を問わず、無償で貸与している。貸与区分、貸与期間、年齢制限などの申請条件等の詳細については、下記のとおり定めている。

楽器貸与については、公式ホームページ等で応募方法を告知し、貸与申請を受け付けている。貸与期間 2 年以上の楽器貸与先「貸与区分 A 及び B」の選考は、欧・米・アジアの有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会において、毎年 1 回実施しており、本年度も申請者から提出された書類や動画は、楽器貸与委員による事前審査及び楽器貸与委員会での討議を経て、楽器貸与先を選定した。

楽器貸与委員会の審議対象外は、「貸与区分 C」のデビュー公演、周年記念公演、レコーディング等の具体的な演奏活動目的がある演奏家への 1 年以内の貸与と、「貸与区分 D」のエリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）ヴァイオリン部門優勝者の副賞としての（次期コンクール開催までの約 4 年貸与）ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」の貸与がある。

貸与期間の上限を 7 年と定めた 2018 年以前より楽器を貸与している被貸与者（旧長期貸与区分）については、演奏活動に支障が出ないよう協議の上、楽器の返却時期を決定している。本年度中に下記の一覧のうち、貸与区分 B の貸与期間を、3 年以内から 7 年以内に変更した。

区分	貸与期間	貸与楽器配分の目安	申請条件	貸与決定方法
A	2 年～7 年以内	保有楽器数の 70%	申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者 （ｸｧﾙﾃｯﾄは、4 名の平均が 40 歳以下）	楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁
B	2 年～7 年以内	保有楽器数の 15%	日本を拠点に演奏活動している者 申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者 （ｸｧﾙﾃｯﾄは、4 名の平均が 40 歳以下）	
C	1 年以内	保有楽器数の 10%	具体的な演奏活動の目的がある者 （例：ﾃﾞﾋﾞｭｰ公演・周年記念公演・ﾚｺｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｺﾝｸｰﾙ等）	会長決裁
D	次期ｺﾝｸｰﾙ開催時まで	保有楽器数の 5%	ｴﾘｻﾞﾍﾞｰﾄ王妃国際音楽ｺﾝｸｰﾙｳﾞｧｲｵﾘﾝ部門優勝	

（1）楽器貸与委員会

事前審査を経て下記のとおり本審査を実施した。

開 催 日　　2025 年 7 月 15 日（火）13:00～14:40
場　　所　　日本財団ビル内 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
楽器貸与委員　　巻末別紙 2 のとおり
財団保有楽器　　巻末別紙 3 のとおり
審議事項　　貸与申請について
報告事項　　現在の貸与状況について

＜審議結果＞

本年度はヴァイオリン 8 名の申請があり、下記のとおり 3 名が選定された。

・金川真弓（アメリカ国籍：ベルリン在住）　貸与区分 A 期間 4 年
・毛利文香（日本国籍：神奈川在住）　貸与区分 A 期間 4 年
・Jake Dongyoung Shim（アメリカ、韓国国籍：フィラデルフィア在住）貸与区分 A 期間 4 年

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 22 挺の貸与状況は下記のとおりであり、年度末現在の貸与先は巻末別紙 4 のとおり。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”「パガニーニ・クァルテット」

被貸与団体　Goldmund Quartet

①1680 年製 Violin　Pinchas Adt（ドイツ・ミュンヘン在住）
②1727 年製 Violin　Florian Schötz（ドイツ・ヴュルツブルク在住）
③1731 年製 Viola　Christoph Vandory（ドイツ・ミュンヘン在住）
④1736 年製 Cello　Raphael Paratore（ドイツ・ミュンヘン在住）

2019 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意され、2019 年 8 月 28 日（うち 3 名は 2019 年 9 月 27 日）から貸与を開始した。2024 年 9 月 30 日（貸与期間 5 年：うち 1 年は新型コロナウイルス感染症拡大による公演中止等を考慮し貸与延長）に貸与終了予定であったが、2024 年度の楽器貸与委員会で再申請による 3 年の貸与が合意された。2027 年 9 月 30 日（貸与期間 8 年）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　10 ヶ国　47 公演〕

⑤ Stradivarius 1666 年製 Violin “Alumnus Amati”「アルムヌス・アマティ」

当該楽器は 2026 年 2 月に購入した楽器である。2013 年以降は演奏されていなかったことから、若手演奏家へ貸与する前に楽器の弾き込みが必要と判断し、ストラディヴァリウスでの演奏を経験している演奏家に演奏委託をする予定。

⑥ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”「ドラゴネッティ」

被貸与者　Jake Dongyoung Shim（アメリカ・フィラデルフィア在住）

2025 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意され、2025 年 8 月 26 日から貸与を開始した。2029 年 8 月 25 日（貸与期間 4 年）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　10 ヶ国　25 公演〕

⑦ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”「ロード・ニューランズ」

被貸与者　大谷康子（東京在住）
貸与期間　2024 年 12 月 16 日～2025 年 12 月 15 日（1 年）　貸与区分 C
2025 年 12 月 16 日～2026 年 3 月 31 日（4 ヶ月）　区分外
デビュー50 周年記念の演奏活動のため

コンサート活動のほか、毎週放送されているBSテレ東の音楽番組「おんがく交差点」でパーソナリティを務め、演奏を披露した。当財団の演奏会（後述）に出演した。

〔当該楽器を使用した公演数　　1ヶ国　72公演〕

⑧　Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”「ハギンス」

被貸与者　　Dmytro Udovychenko（ドイツ・クロンベルク在住）

2024年エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）の優勝者であり、副賞として2024年6月4日から次期コンクール開催前の2028年4月（貸与期間3年11ヶ月）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　　16ヶ国　55公演〕

⑨　Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”「エングルマン」

1）被貸与者　　Timothy Chooi（アメリカ・フィラデルフィア在住）

2020年度の楽器貸与委員会で貸与区分Aとして貸与が合意されたが、コロナ禍の渡航制限により貸与開始が遅れ、2022年6月6日から貸与を開始した。2029年6月5日（貸与期間7年）まで当該楽器を貸与予定だったが、2025年9月22日よりStradivarius1714年製 Violin “Dolphin” に変更した。当財団の演奏会（後述）に出演した。

〔当該楽器を使用した公演数　　6ヶ国　15公演〕

2）被貸与者　　Boha Moon（アメリカ・フィラデルフィア在住）

貸与期間　　2025年10月3日～2026年8月31日（11ヶ月）予定　貸与区分C

レコーディング及び演奏活動のため

〔当該楽器を使用した公演数　　3ヶ国　9公演〕

⑩　Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”「カンポセリーチェ」

1）被貸与者　　María Dueñas（オーストリア・ウィーン在住）

2019年7月12日から貸与区分CでGuarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”を1年間貸与していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による公演中止等を考慮し、貸与期間を6ヶ月間延長した。2020年度楽器貸与委員会で貸与区分Aとして、貸与区分Cの貸与終了後から4年間の貸与が合意された。その後、2022年11月16日に当該楽器に変更した。2024年度の楽器貸与委員会で再申請による1年間の貸与が合意され、2025年9月21日（貸与期間2年10ヶ月、通算貸与期間計5年10ヶ月、貸与中断期間4ヶ月除く）まで貸与。

2）被貸与者　　Sergej Krylov（リトアニア・ヴィライ在住）

貸与期間　　2025年10月8日～2026年10月7日（1年）予定　貸与区分C

自身の楽器の修理中の演奏活動のため

〔当該楽器を使用した公演数　　7ヶ国　26公演〕

⑪ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”「ドルフィン」
被貸与者　Timothy Chooi（アメリカ・フィラデルフィア在住）

2020 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意されたが、コロナ禍の渡航制限により貸与開始が遅れ、2022 年 6 月 6 日から Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman” を貸与していた。2025 年 9 月 22 日から当該楽器に変更した。2029 年 6 月 5 日（当該楽器の貸与期間 3 年 9 ヶ月、通算貸与期間 7 年）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　10 ヶ国　20 公演〕

⑫ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”「ヨアヒム」
被貸与者　外村理紗（アメリカ・ニューヨーク在住）

2021 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意され、2022 年 1 月 12 日から Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter” を貸与していたが、2023 年 8 月 25 日に当該楽器に変更した。2027 年 1 月 11 日（当該楽器の貸与 3 年 5 ヶ月、通算貸与期間計 5 年）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　3 ヶ国　39 公演〕

⑬ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”「ブース」
被貸与者　MINAMI（吉田 南）（ドイツ・クロンベルク在住）

2020 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 B として 3 年間の貸与が合意され、2021 年 8 月 10 日に貸与を開始した。その後 2024 年度の楽器貸与委員会への再申請により貸与区分 A として貸与が合意され、2025 年 12 月 26 日（貸与期間 4 年 5 ヶ月）で貸与を終了した。

当該楽器を使用して 2024 年エリザベート王妃国際音楽コンクール第 6 位、2025 年シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第 2 位に入賞し、シベリウスのヴァイオリン協奏曲最優秀演奏賞をシベリウス・ファミリーより授与された。

〔当該楽器を使用した公演数　7 ヶ国　51 公演〕

⑭ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”「サセルノ」
被貸与者　毛利文香（神奈川在住）

2024 年 10 月 7 日から貸与区分 C で 1 年間貸与していたが、2025 年度楽器貸与委員会で貸与区分 A として、貸与区分 C の貸与終了後から 4 年間の貸与が合意された。2028 年 10 月 6 日（貸与期間 5 年）まで貸与予定。

本年度は通常の演奏活動のほかに、デビュー10 周年記念リサイタルをシリーズとして東京で 3 回開催した。

〔当該楽器を使用した公演数　3 ヶ国　38 公演〕

⑮ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”「ジュピター」
被貸与者　Giuseppe Gibboni（スイス・ポルツァ在住）

2023 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意され、2023 年 10

月 23 日から 2026 年 1 月 17 日（貸与期間 2 年 3 ヶ月）まで貸与した。
当財団の演奏会（後述）に出演した。
〔当該楽器を使用した公演数　　5 ヶ国　17 公演〕

⑯ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”「ウィルヘルミ」
被貸与者　金川真弓（ドイツ・ベルリン在住）
2022 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として 3 年間の貸与が合意され、2022 年 9 月 6 日から貸与。当該楽器を使用して、2024 年ジョルジュ・エネスク国際コンクールのヴァイオリン部門で優勝した。その後 2025 年度の楽器貸与委員会への再申請により 4 年間の貸与が合意され、2029 年 9 月 5 日（貸与期間 7 年）まで貸与予定。当財団の協力事業（後述）に出演した。
〔当該楽器を使用した公演数　　7 ヶ国　42 公演〕

⑰ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”「サマズィユ」
被貸与者　Lun Li（アメリカ・ニューヨーク在住）
2022 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意された。2022 年 9 月 6 日から貸与を開始し、2027 年 9 月 5 日（貸与期間 5 年）まで貸与予定。当財団の演奏会（後述）に出演した。
〔当該楽器を使用した公演数　　2 ヶ国　45 公演〕

⑱ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”「ムンツ」
被貸与者　吉本梨乃（ベルギー・ブリュッセル在住）
2022 年 11 月 16 日から 2023 年 8 月 31 日まで貸与区分 C で約 10 ヶ月貸与していたが、2023 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 B として貸与が合意され、2023 年 9 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日（貸与期間 3 年：通算貸与期間 3 年 10 ヶ月）まで貸与予定。当該楽器を使用して 2025 年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第 2 位に入賞した。当財団の演奏会（後述）に出演した。
〔当該楽器を使用した公演数　　8 ヶ国　30 公演〕

⑲ Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”「ロード・アイレスフォード」
被貸与者　Zlatomir Fung（アメリカ・ニューヨーク在住）
2024 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意された。2025 年 1 年 15 日から 2032 年 1 月 14 日（貸与期間 7 年）まで貸与予定。
〔当該楽器を使用した公演数　　2 ヶ国　31 公演〕

⑳ Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”「フォイアマン」
被貸与者　上野通明（東京、ドイツ・デュッセルドルフ在住）
2024 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A として貸与が合意された。2025 年 2 年 19 日から 2028 年 2 月 18 日（貸与期間 3 年）まで貸与予定。当財団の演奏会（後述）に出演した。

〔当該楽器を使用した公演数　　6ヶ国　61公演〕

㉑　Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”「ムンツ」

1）被貸与者　　Ulisse Mazzon（イタリア・サン・ドナ・ディ・ピアーヴェ在住）

貸与期間　　2025年9月22日～2025年11月28日（約2ヶ月）　貸与区分C

コンクール出場のため

〔当該楽器を使用した公演数　　2ヶ国　10公演〕

2）被貸与者　　佐々木つくし（ドイツ・ベルリン、東京在住）

貸与期間　　2025年12月23日～2026年12月22日まで貸与予定（1年）

貸与区分C

演奏活動、コンクール出場のため

〔当該楽器を使用した公演数　　2ヶ国　4公演〕

㉒　Guarneri del Gesù 1740年製 Violin “Ysaÿe”「イザイ」

被貸与者　　Benjamin Beilman（アメリカ・ニューヨーク在住）

2016年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman” を2016年12月7日から2023年12月6日（貸与期間7年）まで貸与予定であったが、コロナ禍の渡航制限によりATAカルネの更新が困難となり、2020年9月に貸与を一時中断した。2022年6月15日に渡航制限が緩和され貸与を再開する際に当該楽器に変更した。また、ベルギー・ブリュッセルで開催された「イザイ展」の楽器展示に協力のため2024年5月15日から6月7日まで貸与を中断した。2026年8月6日（貸与期間4年1ヶ月、通算貸与期間計7年11ヶ月、貸与中断期間1年10ヶ月を除く）まで貸与予定。

〔当該楽器を使用した公演数　　4ヶ国　66公演〕

3. 演奏会の開催

楽器を貸与中の演奏家による演奏会を下記のとおり実施した。（15公演実施）

（1）演奏会の定期開催（3公演）

「ストラディヴァリウス・コンサート2025」　～Encounter with Stradivari 2025～

当財団は、保有するストラディヴァリウス 10 挺以上を使用する「ストラディヴァリウス・コンサート」を 4 年に一度開催している。その間の 3 年は、ストラディヴァリウス数挺を使用して小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」を定期開催している。

名器の音色と質の高いクラシック音楽を披露し、各開催地におけるクラシック音楽の振興・普及に寄与すると共に当財団の事業を広く周知広報することに努めている。

本年度の開催詳細は下記とおりである。東京公演の実録CDを作成した。

公演名　「ストラディヴァリウス・コンサート 2025」
～300 年の名器による珠玉の室内楽～

出　演　Timothy Chooi　Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用
上野通明　Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用
須関裕子　ピアノ

曲　目　ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第 3 番 イ長調 作品 69
グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ第 3 番 ハ短調 作品 45
メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第 2 番 ハ短調 作品 66
J.ウィルアムズ：映画「シンドラーのリスト」メインテーマ（アンコール）

① 神戸公演

日　程　2025 年 9 月 13 日（土）15:00 開演
会　場　神戸文化ホール 中ホール（904 席）
主　催　（公財）日本音楽財団、（公財）神戸市民文化振興財団
共　催　（公財）ひょうご子どもと家庭福祉財団
助　成　（公財）日本財団
協　力　子ども発達支援センターコンサート実行委員会
入場料　一般 3,000 円、25 歳以下 1,000 円
入場料（1,898,000 円）は、子ども発達支援センターコンサート実行委員会から、（公財）ひょうご子どもと家庭福祉財団へ寄付され、同財団の行う公益事業に使われた。
来場者数　634 名

② 山形公演

日　程　2025 年 9 月 15 日（月・祝）15:00 開演
会　場　山形テルサ　テルサホール（806 席）
主　催　（公財）日本音楽財団、山形テルサ指定管理者（一財）山形市都市振興公社
助　成　（公財）日本財団
後　援　TUY テレビユー山形
入場料　S 席一般 3,000 円、A 席一般 2,500 円、A 席学生（高校生以下）1,500 円
入場料（1,541,500 円）は、（一財）山形市都市振興公社の収入とし、同団体の行う公益事業に使われた。
来場者数　530 名

③ 東京公演

日　程　2025 年 9 月 18 日（木）19:00 開演
会　場　サントリーホール　ブルーローズ（小ホール）　座席扇形使い（380 席）
主　催　（公財）日本音楽財団、（公財）サントリー芸術財団サントリーホール
助　成　（公財）日本財団

入場料　　指定席 5,500 円、サイドビュー席 4,000 円、25 歳以下 1,000 円
入場料（1,619,000 円）は（公財）サントリー芸術財団サントリーホールの収入とし、同団体の行う公益事業に使われた。
来場者数　341 名

(2) 全国の自治体が保有するホールとの共同事業（2 公演）

（公社）全国公立文化施設協会（公文協）と協力し、全国の自治体が運営するホールと共同し、世界的に活躍する若手演奏家による名演と名器の音色を身近なホールで鑑賞していただくとともに、コンサートのチケット代から得られた収益を地元に還元し、音楽文化の振興と普及等に役立てることを目的とする。

下記のとおり 2 都市で実施した。本事業は 3 年目となる。

実録 CD を作成し、関係者へ配布することで事業の周知広報に努めた。

出　演　　吉本梨乃　　Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用
金子三勇士　　ピアノ
曲　目　　バルトーク：ラプソディ第 1 番
ブラームス：ハンガリー舞曲第 1 番 ト短調
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第 1 番 ト長調 作品 78「雨の歌」
J.S バッハ：シャコンヌ
リスト：ラ・カンパネラ（ピアノ独奏）
ラヴェル：ツィガーヌ
モンティ：チャールダーシュ（アンコール）

④ 兵庫県神崎郡市川町公演

公演名　　ストラディヴァリウス・コンサート
「吉本梨乃 ヴァイオリン・リサイタル」
日　程　　2025 年 11 月 8 日（土）13:30 開演
会　場　　市川町文化センターひまわりホール（588 席）
主　催　　（公財）日本音楽財団、（公社）全国公立文化施設協会、市川町
助　成　　（公財）日本財団
入場料　　一般 2,000 円、高校生以下 1,000 円（当日は 500 円増）
入場料（658,500 円）は、市川町の収入とし、地域の公益目的事業に使われた。
来場者数　458 名

⑤ 北海道名寄市公演

公演名　　EN-RAY ホール開館 10 周年記念　ストラディヴァリウス・コンサート
「吉本梨乃ヴァイオリン・リサイタル」
日　程　　2025 年 11 月 9 日（日）16:00 開演

会　場　　名寄市民センター大ホール（647 席）
主　催　　（公財）日本音楽財団、（公社）全国公立文化施設協会、
　　名寄市、名寄市教育委員会
助　成　　（公財）日本財団
入場料　　一般 2,000 円、学生及び 70 歳以上 1,000 円
　　入場料（566,700 円）は名寄市の収入とし、地域の公益目的事業に使われた。
来場者数　384 名

（3）千葉県文化振興財団との共同事業（3 公演）

（公財）千葉県文化振興財団と協力し、同地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及を目的とし、本年度はジュニアオーケストラの合奏指導の実施と 2 都市で「青少年のためのコンサート」を主な対象として開催した。本事業は 3 年目となる。

実録 CD を作成し、関係者へ配布することで事業の周知広報に努めた。

⑥　公演名　　「大谷康子合奏クリニック」
日　程　　2025 年 8 月 15 日（金）13:00～16:00
会　場　　千葉県文化会館大ホール（1,790 席）
主　催　　（公財）日本音楽財団、千葉県、（公財）千葉県文化振興財団
助　成　　（公財）日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会
合奏指導　大谷康子　　Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands” 使用
管弦楽　　千葉県少年少女オーケストラ
音楽監督　佐治薫子
曲　目　　ベートーヴェン：交響曲第 9 番 ニ短調 作品 125
入場料　　無料
来場者数　321 名

⑦⑧「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」
出　演　　大谷康子　　Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands” 使用
　　平塚太一　　ピアノ
曲　目　　クライスラー：愛の喜び
　　ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」作品 8 から「夏」
　　バッハ：G 線上のアリア
　　ブラームス：ハンガリー舞曲第 5 番
　　井上武士：海
　　岡野貞一：ふるさと
　　葉加瀬太郎：情熱大陸
　　サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン作品 20

モンティ：チャールダーシュ（アンコール）
クライスラー：美しきロスマリン（アンコール 8/17 のみ）

⑦ 公演名　千葉県文化振興財団設立 40 周年記念・
千葉県文化会館リニューアルオープン記念
「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」千葉公演
日　程　2025 年 8 月 16 日（土） 14:00 開演
会　場　千葉県文化会館 大ホール（1,790 席）
主　催　（公財）日本音楽財団、（公財）千葉県文化振興財団
後　援　千葉県、千葉市、佐倉市 / 千葉市・市原市・習志野市・八千代市・四街道市・八街市・東金市・茂原市　各教育委員会
入場料　小中高生無料、一般 2,000 円、一般（団体）1,800 円、30 歳以下 1,000 円、30 歳以下（団体）900 円、Sonoligo 1,583 円
入場料収入（976,388 円）は千葉県文化振興財団の公益目的事業に使われた。
来場者数　680 名

⑧ 公演名　千葉県文化振興財団設立 40 周年記念
「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」東総公演
日　程　2025 年 8 月 17 日（日） 14:00 開演
会　場　千葉県東総文化会館 大ホール（900 席）
主　催　（公財）日本音楽財団、（公財）千葉県文化振興財団
助　成　（公財）日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会
後　援　千葉県 / 銚子市・東金市・旭市・匝瑳市・香取市・山武市・多古町・東庄町・横芝光町　各教育委員会
入場料　小中高生無料、一般 2,000 円、30 歳以下 1,000 円
入場料収入（508,800 円）は千葉県文化振興財団の公益目的事業に使われた。
来場者数　410 名

(4) 全国のオーケストラとの共同事業（5 公演）

（公社）日本オーケストラ連盟（正会員：27 団体、準会員：13 団体）との共同事業として、全国のオーケストラの主催する公演に当財団の楽器被貸与者がソリストとして出演協力した。本事業を通じて双方が保有する音楽資源を有効に活用し、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、実施した 4 公演に学生計 158 名を招待し、若者がクラシック音楽に触れる機会を提供するとともに、次世代の音楽文化の担い手の育成にも貢献した。

実録 CD を作成し、関係者へ配布することで事業の周知広報に努めた。

⑨ 公演名　中部フィルハーモニー交響楽団　岐阜特別演奏会
「ニューイヤーコンサート」
日　程　2026 年 1 月 10 日（土）14:00 開演
会　場　サラマンカホール（708 席）
主　催　（特非）中部フィルハーモニー交響楽団
協　力　（公財）笹川音楽財団
特別協力　（公財）日本財団
出　演　ソリスト　Giuseppe Gibboni　Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用
指　揮　出口大地
曲　目　チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35
来場者数　585 名（うち学生招待 7 名）

⑩ 公演名　1）京都市交響楽団　特別演奏会「ニューイヤーコンサート」
⑪ 公演名　2）京都市交響楽団　京都信用金庫「ニューイヤーコンサート」
日　程　1）2026 年 1 月 11 日（日）14:30 開演
2）2026 年 1 月 12 日（月・祝）14:00 開演
会　場　京都コンサートホール（1,833 席）
主　催　京都市交響楽団
協　力　（公財）笹川音楽財団
特別協力　（公財）日本財団
出　演　ソリスト　Lun Li　Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用
指　揮　Roman Reshetkin
曲　目　ヴォーン・ウィリアムズ：揚げひばりーヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス
来場者数　1,267 名（うち学生招待 43 名）（1/11）
1,547 名（1/12）

⑫ 公演名　神奈川フィルハーモニー管弦楽団
みなとみらいシリーズ定期演奏会第 410 回
日　程　2026 年 1 月 17 日（土）14:00 開演
会　場　横浜みなとみらいホール 大ホール（2,020 席）
主　催　（公財）神奈川フィルハーモニー管弦楽団
協　力　（公財）笹川音楽財団
特別協力　（公財）日本財団
出　演　ソリスト　Giuseppe Gibboni　Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用
指　揮　松本宗利音
曲　目　パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲第 1 番 ニ長調 作品 6
来場者数　1,471 名（うち学生招待 65 名）

⑬ 公演名　大阪交響楽団　第 138 回名曲コンサート「音楽と美術 II」
日　程　2026 年 1 月 18 日（日）14:00 開演

会　場　　ザ・シンフォニーホール（1,704 席）
主　催　　（公社）大阪交響楽団
協　力　　（公財）笹川音楽財団
特別協力　（公財）日本財団
出　演　　ソリスト　Lun Li　Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用
　　指　揮　高橋直史
曲　目　　メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64
来場者数　1,527 名（うち学生招待 43 名）

（5）広報事業（1 公演）

楽器貸与事業の広報の一環として、下記のとおり被貸与者 2 名によるデュオ・コンサートを実施し、楽器貸与事業の周知広報するため、音楽関係者のみならず幅広い分野の方を招待した。

実録 CD を作成し、関係者へ配布することで事業の周知広報に努めた。

⑭ 公演名　ジュゼッペ・ジッボーニ＆ルエン・リー　デュオ・リサイタル
日　程　2026 年 1 月 14 日（水）19:00 開演
会　場　サントリーホール　ブルーローズ（小ホール）座席縦使い（430 席）
主　催　（公財）笹川音楽財団
助　成　（公財）日本財団
出　演　Giuseppe Gibboni　Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用
　　Lun Li　Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用
　　實川　風　ピアノ
曲　目　ディートリヒ/シューマン/ブラームス：F.A.E ソナタ
　　ミヨー：2 つのヴァイオリンとピアノのためのソナタ
　　フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調
　　ヴィヴァルディ：ラ・フォリア
　　ショスタコーヴィチ：2 つのヴァイオリンとピアノのための 5 つの小曲から
　　ガボット、エレジー、ワルツ（アンコール）
来場者数　約 290 名（招待のみ）

（6）協力事業（1 公演）

アジアの主な財団を招待し、地域共通の課題について議論を深めあう場として開催される「アジア・フィランソロピー会議 2025」の歓迎夕食会において、ストラディヴァリウス・ヴァイオリンによる演奏を披露し、当財団の楽器貸与事業を周知広報した。

⑮ 公演名　「アジア・フィランソロピー会議 2025」特別演奏
日　程　2025 年 12 月 3 日（水）18：00～18：20
会　場　インターコンチネンタルホテル東京ベイ「ハーバービューテラス」

主　催　　（公財）日本財団
協　力　　（公財）日本音楽財団
出　演　　金川真弓　　Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”使用
曲　目　　パガニーニ：24 のカプリース
　　ユン・イサン：「庭園のリーナ」から No.5. Das vögelchen
　　バッハ：パルティータ第 3 番からガヴォット（ロンド風ガヴォット）
聴衆数　　海外団体代表及び随行者等　約 40 名

4. 音楽文化振興・普及のための助成

「弦楽器を主とした演奏において、音楽的、技術的向上に資する事業」、「より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業」を対象として公式 Web サイトで応募方法を告知し、有識者で構成される諮問委員会である事業運営委員会で、若手弦楽器奏者育成、公益性、運営力、創造性、緊要度の 5 つの要件から総合的に判断し助成先を選定した。

年度初めに実施される事業にも対応するため、前年度中に委員会を開催している。

2025 年度事業運営委員会
開催日　　2025 年 3 月 4 日（火）14:00～15:40
場　所　　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
事業運営委員　　巻末別紙 2 のとおり

＜審議結果＞
13 事業が採択され、6,000,000 円を助成した。
助成事業の詳細は下記のとおり（開催日順）。

① 事業名　　第 9 回スーパークラシック アンサンブル特別演奏会
　　「ライナー・キュッヒル氏を迎えて」
　　第 8 回スーパークラシックアンサンブル「×堀江トリオ」
　実施団体　　堀江ファミリーコンサート
　日　程　　2025 年 4 月 6 日（日）、7 月 19 日（土）
　会　場　　吹田市文化会館　メイシアター大ホール（大阪）
　助成額　　300,000 円

② 事業名　　「シェーンベルク・シリーズ Vol.1≪詩と音楽≫第 62 回公演」
　実施団体　　（一社）Ensemble Amoibe
　日程・会場　　2025 年 4 月 27 日（日）　早稲田奉仕園（東京）
　　2025 年 5 月 30 日（金）　京都文化博物館特別ホール（京都）
　助成額　　200,000 円

③ 事業名　「ヴィオラスペース 2025 vol.33　第 6 回東京国際ヴィオラコンクール」
実施団体　東京国際ヴィオラコンクール実行委員会
日程・会場　2025 年 5 月 23 日（金）～5 月 28 日（水）　桐朋学園大学調布キャンパス（東京）
2025 年 5 月 29 日（木）　桐朋学園宗次ホール（東京）
2025 年 5 月 28 日（水）、5 月 30 日（金）、5 月 31 日（土）、6 月 1 日（日）
日本製鉄紀尾井ホール（東京）
2025 年 6 月 3 日（火）　あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール（宮城）
2025 年 6 月 5 日（木）　宮城野区文化センター（宮城）
助成額　1,000,000 円

④ 事業名　仙台銀行ホール　イズミティ 21　コンサートシリーズ「イズミノオト」
実施団体　（公財）仙台市市民文化事業団
日　程　2025 年 7 月 13 日（日）、2026 年 1 月 17 日（土）、3 月 22 日（日）
会　場　仙台銀行ホール　イズミティ 21 小ホール（宮城）
助成額　300,000 円

⑤ 事業名　「第 46 回霧島国際音楽祭」
実施団体　（公財）ジェスク音楽文化振興会
日　程　マスタークラス（6 コース 9 クラス 97 名参加）、コンサート（36 公演）
2025 年 7 月 18 日（金）～8 月 3 日（日）　鹿児島県内各地
会　場　霧島国際音楽ホール「みやまコンセール」（鹿児島）他
助成額　300,000 円

⑥ 事業名　鳥取チェンバーオーケストラ事業「室内楽セミナー」「第 6 回定期公演」
実施団体　（公財）鳥取県文化振興財団
日　程　室内楽セミナー：2025 年 7 月 24 日（木）～7 月 27 日（日）
第 6 回定期公演：2025 年 11 月 3 日（月・祝）
会　場　鳥取県立県民文化センター（とりぎん文化会館）（鳥取）
助成額　500,000 円

⑦ 事業名　「2025 いしかわミュージックアカデミー」
実施団体　いしかわミュージックアカデミー実行委員会
日　程　2025 年 8 月 17 日（日）～8 月 26 日（火）
会　場　石川県立音楽堂交流センター、石川県青少年総合研修センター、
金沢市アートセンター他（石川）
助成額　500,000 円

⑧ 事業名　「東京ジュニアオーケストラソサエティ 第 25 回定期演奏会」
実施団体　（特非）東京ジュニアオーケストラソサエティ
日　程　2025 年 8 月 20 日（水）

会　場　　文京シビックホール　大ホール（東京）
助成額　　800,000 円

⑨ 事業名　　「プロジェクト Q・第 23 章～若いクァルテット、モーツァルトに挑戦する」
実施団体　プロジェクト Q 実行委員会
日　程　　公開マスタークラス　2025 年 10 月 27 日（月）、10 月 29 日（水）、11 月 5 日（水）、12 月 1 日（月）、2026 年 1 月 15 日（木）、1 月 16 日（金）
トライアル・コンサート　2026 年 2 月 11 日（水・祝）、2 月 24 日（火）
本公演　2026 年 3 月 14 日（土）
会　場　　東京音楽大学、TCM ホール他（東京）
助成額　　900,000 円

⑩ 事業名　　「室内楽への招待シリーズ」
実施団体　（公財）びわ湖芸術文化財団滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
日　程　　2025 年 10 月 12 日（日）、11 月 16 日（日）
会　場　　滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀）
助成額　　200,000 円

⑪ 事業名　　「斑鳩音楽祭ストリングスの調べ～斑鳩から世界へ繋がる音楽の輪～」
実施団体　（一社）あおによし音楽コンクール奈良
日　程　　2025 年 10 月 17 日（金）
会　場　　いかるがホール　小ホール（奈良）
助成額　　200,000 円

⑫ 事業名　　「Reise String Laboratory シリーズ」
実施団体　（一社）Reise
日　程　　2026 年 3 月 2 日（月）～3 月 8 日（日）
公開リハーサル：2026 年 3 月 2 日（月）～3 月 6 日（金）
コンサート：2026 年 3 月 8 日（日）
会　場　　今福音楽堂、箕面市立文化芸能劇場小ホール（大阪）
助成額　　300,000 円

⑬ 事業名　　「オーケストラの日 2025」
実施団体　（公社）日本オーケストラ連盟
日　程　　2026 年 3 月 31 日（火）
会　場　　ミューザ川崎シンフォニーホール（神奈川）
助成額　　500,000 円

5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

（1）財団パンフレット（日英併記）を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。

（2）ホームページや SNS（日英併記）にて、財団の事業活動全般について紹介している。

（3）財団主催演奏会の実録 CD 等を制作し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布、また演奏会動画の一部を当財団 YouTube サイトで配信している。
本年度の CD 制作等は、以下のとおり。

① 「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」実録 CD 作成
（2025 年 8 月 17 日千葉旭市収録）

② 「ストラディヴァリウス・コンサート 2025」実録 CD
（2025 年 9 月 18 日東京収録）

③ 全国公立文化施設協会（公文協）との共同事業
「吉本梨乃ヴァイオリン・リサイタル」実録 CD 作成
（2025 年 11 月 8 日 兵庫収録）

④ 日本オーケストラ連盟との共同事業演奏会」実録 CD 2 種作成
（2026 年 1 月 11 日京都、1 月 17 日 神奈川収録：Lun Li 演奏）
（2026 年 1 月 10 日岐阜、1 月 18 日 大阪収録：Giuseppe Gibbon 演奏）

⑤ 「Lun Li & Giuseppe Gibboni 2 つのヴァイオリンとピアノ」実録 CD 作成
（2026 年 1 月 14 日 東京収録）

（4）楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団が実施する事業の周知・広報に協力を得ている。

① 被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムで、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていることの事実を周知・広報する。

② 貸与楽器による演奏が、CD、動画等の形で制作されるときは、被貸与者は、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていることの事実を当該制作物に明確に表示する。

③ 被貸与者は、年に 1 度、3 月末日までに前年 4 月からの演奏会（開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等）、CD、動画等制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。最近では、動画配信が個人でも簡易にできることから、CD 制作よりも貸与楽器を使用して、それぞれ各自の YouTube サイト等で演奏動画を公開している傾向にある。
本年度の被貸与者による貸与楽器を使用した CD リリースは以下のとおり。

・金川真弓　　Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用
CD タイトル「VOYGE-無伴奏リサイタル」

・Goldmund Quartet　　Stradivarius “Paganini Quartet”使用
CD タイトル「DAHOAM」

（5）音楽雑誌、新聞、その他マスメディア等の取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。
本年度における楽器貸与に係る主な協力事業、掲載記事等は以下のとおり。

① 音楽雑誌「音楽の友」 2025 年 7 月号
「ストラディヴァリウス・コンサート 2025」出演者インタビュー記事
Timothy Chooi、上野通明、須関裕子

② 高知新聞 2025 年 7 月 25 日付 「時代の旅人　あの人に聞く」
「大谷康子」インタビュー記事
楽器写真提供：Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”

③ 笹川日仏財団が 2021 年からポッドキャスト番組「フレンチ・クラシック・カフェ」で配信しているフランスのクラシック音楽紹介番組に当財団主催演奏会の CD 音源を提供（毎週土曜日配信）
・スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル（2018 年 4 月 17 日収録 CD）
・竹澤恭子&江口玲デュオ・リサイタル（2019 年 3 月 5 日収録 CD）
・カミーユ・トマ チェロ・リサイタル（2022 年 6 月 29 日収録 CD）
・ステラ・チェン&イム・ジヨンデュオ・リサイタル（2024 年 1 月 25 日収録 CD）

④ 神戸新聞（夕刊） 2025 年 9 月 5 日付
「ストラディヴァリウス・コンサート 2025 神戸公演」についての紹介記事

⑤ The Strad.com / Violin Channel　2025 年 9 月 25 日付（オンラインニュース）
Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”　Ulisse Mazzon への貸与記事

⑥ 高崎市文化事業広報誌「劇場都市」2025 年 9 月発行版 Vol.16
「大谷康子」インタビュー記事
楽器写真提供：Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

⑦ The Strad.com 2025 年 10 月 6 日付 / Violin Channel 2025 年 10 月 8 日付（オンラインニュース）
Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”　Timothy Chooi への貸与記事

⑧ The Strad.com　2025 年 11 月 27 日付（オンラインニュース）
Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”　Sergej Krylov への貸与記事

⑨ Violin Channel　2026 年 2 月 4 日付（オンラインニュース）
公益財団法人日本音楽財団から公益財団法人笹川音楽財団への法人名称変更及び保有楽器の図録について紹介された。

III 総　務

1. 役員の異動

2025 年 10 月 31 日付で尾形武寿評議員が一身上の都合により辞任した。評議員選任委員会にて相澤佳余評議員が選任され、2025 年 11 月 1 日付で就任した。

2025 年 10 月 19 日、海老沢勝二代表理事（会長）が逝去し退任した。

2025 年 12 月 15 日開催の臨時評議員会において、石川陽介氏が理事に選任された。同日開催の理事会において、加納民夫理事が代表理事（理事長）に、石川陽介と石川礼子両理事が業務執行理事（常務理事）にそれぞれ選任され、同日付けで就任した。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙 1 のとおり。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり 5 回開催した。

第 1 回理事会

開 催 日　2025 年 6 月 6 日（金）14:00～15:00
場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　2024 年度事業報告及び収支決算について
　　第 2 号議案　評議員会の招集について

第 2 回理事会（決議の省略）

決議があったとみなされる日時　2025 年 9 月 22 日（月）12：00
議決事項　第 1 号議案　評議員選任委員会委員の選任について

第 3 回理事会（決議の省略）

決議があったとみなされる日時　2025 年 11 月 26 日（水）17：00
議決事項　第 1 号議案　臨時評議員会の招集について

第 4 回理事会

開 催 日　2025 年 12 月 15 日（月）15:00～16:00
場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　代表理事（理事長）並びに業務執行理事（常務理事）の選定について
　　第 2 号議案　名誉会長の選定について
　　第 3 号議案　諸規程の整備について
　　第 4 号議案　「楽器貸与」に係る弦楽器の購入について

第 5 回理事会

開 催 日　2026 年 3 月 6 日（金）13:30～14:30

場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　2026 年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、理事長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は理事長に一任する
第 2 号議案　諸規程の整備について
第 3 号議案　定時評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり 3 回開催した。

定時評議員会
開 催 日　2025 年 6 月 23 日（月）14:00～15:00
場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　2024 年度事業報告及び収支決算について

臨時評議員会
開 催 日　2025 年 12 月 15 日（月）13:30～14:30
場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　理事の選任について
第 2 号議案　定款の一部変更について
第 3 号議案　「楽器貸与」に係る弦楽器の購入について

第 2 回臨時評議員会
開 催 日　20261 年 3 月 6 日（金）15:00～16:00
場　　所　日本財団ビル 2 階会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）
議決事項　第 1 号議案　2026 年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、理事長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は理事長に一任する

4. 評議員選任委員会（決議の省略）

決議があったとみなされる日時　2025 年 10 月 3 日（金）12:00
議決事項　評議員の選任について

5. 監事監査

2024 年度事業報告及び収支決算について監事監査を行った。
開 催 日　2025 年 5 月 30 日（金）14:00～15:00
場　　所　日本音楽財団内会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）

6. 登記事項

2025 年 12 月 18 日　法人名称の登記変更
代表理事の登記変更（1 名削除、1 名追加）
評議員の登記変更（1 名削除、1 名追加）
理事の登記変更（1 名削除、1 名追加）

7. 主務大臣（内閣府）への届出等

2025 年 6 月 24 日　2024 年度事業報告書及び収支決算書提出
2026 年 1 月 27 日　法人名称の登記事項変更届
代表理事登記事項変更届（1 名削除、1 名追加）
評議員の登記事項変更届(1 名削除、1 名追加)
理事の登記事項変更届（1 名削除、1 名追加）
2026 年 3 月 30 日　2026 年度事業計画書及び収支予算書届

8. 外部監査の実施

永和監査法人に監査を委託し、期中監査を 2026 年 3 月 18 日に、期末監査を 2026 年 4 月 24 日、5 月 11 日、20 日に実施した。

9. 広報活動　「ランチタイムコンサートの開催」

若手演奏家への演奏機会の提供と育成、当財団事業の広報を目的とし、地域の音楽文化の振興・普及に繋がるようなランチタイムコンサートを開催している。来場者にとっては、生演奏を身近で体感でき、様々な楽器やジャンルの音楽に触れあえる機会となっており、好評を得ている。

出演者は、一般公募で提出された書類と動画審査により、選定会議にて決定している。本年度は、港区にあるサントリーホールを中心としてアークヒルズ界隈が音楽で盛り上がる“まちの音楽祭”「ARK Hills Music Week」※の協力開催として、2025 年 10 月 8 日（水）、9 日（木）、10 日（金）の 3 日連続で実施した。

本年度は下記のとおり 24 公演を実施し、計 2,464 名が来場した。

日　程　　毎月第 2、第 4 水曜日　12:10～12:50
場　所　　日本財団バウルーム（東京都港区赤坂 1-2-2　日本財団ビル 1 階ロビー）

①2025 年 4 月 9 日（水）　来場者数 105 名
「ヴァイオリン＆ハープデュオ　スプリングコンサート」
サクラナミキ
小泉奈美（ヴァイオリン）、夛賀さくら（ハープ）

②2025 年 4 月 23 日（水）　来場者数 92 名
「ヴィオラ＆ピアノ　名曲コンサート」
古市沙羅（ヴィオラ）、竹田俊亮（ピアノ）

③2025 年 5 月 14 日（水） 来場者数 100 名
「光のほうへ　～ドイツに生きた 3 人の作曲家～」
下岡萌々子（ピアノ）

④2025 年 5 月 28 日（水） 来場者数 100 名
「フルートとピアノで聴く花の音楽」
岡本元樹（フルート）、鈴木萌子（ピアノ）

⑤2025 年 6 月 11 日（水） 来場者数 91 名
「Musica squisita ～歌のフルコースをあなたへ～」
塚本正美（ソプラノ）、小松　桃（ピアノ）

⑥2025 年 6 月 25 日（水） 来場者数 72 名
「音楽の旅路　ピアノ編」
久野真理愛（ピアノ）

⑦2025 年 7 月 9 日（水） 来場者数 130 名
「姉妹ヴァイオリンが奏でる　珠玉の名曲コンサート」
弓場多香子（ヴァイオリン）、弓場友美子（ヴァイオリン）

⑧2025 年 7 月 23 日（水） 来場者数 98 名
「Der Wanderer 孤独に愛をかざして　～心がホッとするランチタイムコンサート～」
竹内麻優（ピアノ）

⑨2025 年 8 月 27 日（水） 来場者数 96 名
「クラリネットとピアノで織りなすフランス音楽」
平石早玲（ヴァイオリン）、渡部桃子（ピアノ）

⑩2025 年 9 月 10 日（水） 来場者数 115 名
「ピアノデュオコンサート　～4 手で紡ぐフランスの薫り～」
森岡姿帆（ピアノ）、諸原康代（ピアノ）

⑪2025 年 9 月 24 日（水） 来場者数 121 名
「デュオの饗宴　～ロマンと革命のヴァイオリン～」
中嶋美月（ヴァイオリン）、大野真依子（ヴァイオリン）、美里芽玖（ピアノ）

⑫2025 年 10 月 8 日（水）※　来場者数 80 名
「3 つの時代を旅するピアノ」
工藤桃子（ピアノ）

⑬2025 年 10 月 9 日（木）※　来場者数 85 名
「心安らぐひととき　～歌とピアノの旋律を添えて～」
石丸明日美（ソプラノ）、星野はな（ピアノ）

⑭2025 年 10 月 10 日（金）※　来場者数 96 名
「ヴァイオリンとピアノで聴く　ロマン派名曲集」
田所小波（ヴァイオリン）、大越崇史（ピアノ）

⑮2025年10月22日（水）　来場者数94名
「デュオコンサート」
　吉村美智子（ヴァイオリン）、菊野惇之介（ピアノ）

⑯2025年11月12日（水）　来場者数91名
「季節を彩る箏アンサンブルのひととき」
　鹿野竜靖（箏、十七弦）、丹生谷愛恵（箏、十七弦）、木下富博（箏、十七弦）

⑰2025年11月26日（水）　来場者数109名
「モーリス・ラヴェル　生誕150年を記念して」
　平林大翔（ピアノ）

⑱2025年12月10日（水）　来場者数124名
「海の煌めき、スペインの憧れ」
　中山結菜（ピアノ）

⑲2025年12月24日（水）　来場者数93名
「ピアノに紡ぐノエルの夢と祈り」
　時田高宏（ピアノ）

⑳2026年1月14日（水）　来場者数120名
「Humoresque！ユーモアとロマンスの午後」
　Quatuor La Fusion
　平井　亘（ソプラノ・サクソフォン）、中津川　輝（アルト・サクソフォン）、
　川口蒼太（テナー・サクソフォン）、西村　魁（バリトン・サクソフォン）

㉑2026年1月28日（水）　来場者数125名
「ブラスでめぐる午後の音景色」
　Beam Brass Quintet
　髙橋幸之助（トランペット）、鈴木大輝（トランペット）、粂　侑樹（ホルン）
　林　智大（トロンボーン）、中野一真（チューバ）、

㉒2026年2月25日（水）　来場者数97名
「オールショパン　ランチタイムコンサート」
　坂口奈々美（ピアノ）

㉓2026年3月11日（水）　来場者数130名
「アカデミー修了生による　～Spring Concert～」
　青木凜花（ヴァイオリン）、石橋慶一（ピアノ）

㉔2026年3月25日（水）　来場者数100名
「木琴とピアノの音楽会」
　磯田日向子（木琴）、高木梨花（ピアノ）

10. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員3名、常勤職員7名、計10名である。

以上

別紙 1

理事・監事・評議員名簿

（2026 年 3 月 31 日現在、敬称略）

理事長	加納　民夫	常勤（代表理事）
常務理事	石川　陽介	常勤（業務執行理事）
常務理事	石川　礼子	常勤（業務執行理事）
理　事	伊東　信一郎	ANA ホールディングス（株）特別顧問
理　事	門野　泉	清泉女子大学名誉教授、（公財）東京財団顧問
理　事	河村　潤子	国立教育政策研究所名誉所員、 元（独）日本芸術文化振興会理事長
理　事	澤　和樹	ヴァイオリニスト、（公社）日本演奏連盟理事長 （公財）文化財保護・芸術研究助成財団理事長
理　事	長木　誠司	東京大学名誉教授、音楽評論家
理　事	野平　一郎	作曲家、ピアニスト、東京音楽大学学長
理　事	福井　俊彦	元日本銀行総裁、 （一財）キヤノングローバル戦略研究所理事長
監　事	石倉　康弘	（公財）日本科学協会常務理事
監　事	吉村　貞彦	公認会計士
評議員	相川　直樹	慶應義塾大学名誉教授
評議員	相澤　佳余	（公財）日本財団常務理事
評議員	岩野　裕一	（株）実業之日本社代表取締役社長、 音楽ジャーナリスト
評議員	小松　弥生	（独）国立美術館東京国立近代美術館館長
評議員	佐藤　隆文	元金融庁長官
評議員	白石　美雪	音楽学者、音楽評論家、武蔵野美術大学教授
評議員	藤井　宏昭	（独）国際交流基金顧問
評議員	牧野　陽子	成城大学名誉教授
評議員	村上　典吏子	映像プロデューサー、放送作家
評議員	芳野　まい	（一社）安東美術館理事、 NHK ラジオフランス語講座講師

別紙 2

委員名簿

（2026 年 3 月 31 日現在、敬称略）

楽器貸与委員　（欧州・米国・アジアの代表で構成）

委員長	原 田　幸 一 郎	ヴァイオリニスト、桐朋学園大学特命教授、 東京音楽大学特任教授、 マンハッタン音楽院ファカルティ
委員長代行	イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit	エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー） 理事長
委　員	池 辺　晋 一 郎	作曲家、東京音楽大学名誉教授
委　員	アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian	ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、 カーティス音楽院ヴァイオリン学科長
委　員	キム・カシュカシャン Kim Kashkashian	ヴィオリスト、ニューイングランド音楽院室内楽教授 ミュージック・フォー・フード芸術監督
委　員	クライブ・ギリンソン Clive Gillinson	カーネギーホール総支配人兼芸術監督
委　員	ドミトリー・シトコヴェツキー Dmitry Sitokovetsky	ヴァイオリニスト、指揮者、編曲家
委　員	ジョナサン・ノット Jonathan Nott	指揮者、スイス・ロマンド管弦楽団音楽監督
委　員	藤 原　真 理	チェリスト

事業運営委員

委員長	小 倉　多美子	音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学非常勤講師
委　員	柴 田　俊 一	日本芸術文化振興会非常勤プログラムオフィサー 元 NHK プロデューサー
委　員	柴 辻　純 子	音楽評論家
委　員	那 須 田　孜	音楽評論家
委　員	室 田　尚 子	音楽評論家、 昭和音楽大学・東京科学大学非常勤講師

別紙　3

保有楽器概要

（2026 年 3 月 31 日現在）

当財団は、ストラディヴァリウス20挺：内訳は、クァルテット1組（ヴァイオリン2挺、ヴィオラ1挺）、チェロ1挺）、ヴァイオリン14挺、チェロ2挺と、グァルネリ・デル・ジェズ・ヴァイオリン2挺の合計22挺の弦楽器名器を保有している。
楽器の概要は下記のとおりである。

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クァルテット」

1680 年製 Violin　　1727 年製 Violin
1731 年製 Viola　　1736 年製 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ（1644～1737）製作による楽器で構成されたクァルテットは、6 セットの存在が知られている。このクァルテットはそのひとつであり、19 世紀の伝説的なヴァイオリニストで作曲家のニコロ・パガニーニ（1782～1840）が所有していたことで有名である。

日本音楽財団は 1994 年 2 月にアメリカ・ワシントン D.C. のコーコラン美術館よりこのセットを購入した。同美術館にこのクァルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は 4 挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

Stradivarius 1666 年製 Violin "Alumnus Amati" 「アルムヌス・アマティ」

このヴァイオリンは、ストラディヴァリが製作した楽器のうち、オリジナルのラベルが残る最初期のものである。ラベルには「クレモナのアントニオ・ストラディヴァリ、ニコロ・アマティの弟子、1666 年製作」と記されており、彼がニコロ・アマティ（1596-1684）の弟子であったことを示唆する唯一のものである。ベルチャ弦楽四重奏団の第一ヴァイオリン奏者コリーナ・ベルチャによって 10 年間演奏されたのち、2013 年にアシュモレアン博物館で「Serdet（セルデ）」の名で展示された。

この楽器は、日本の篤志家からのご寄付と日本財団の助成により、2026 年 2 月に購入した。

Stradivarius 1700 年製 Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

この楽器は、ネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。イタリアの著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ（1763～1846）によって大切に所有されていたことから、現在この名前で呼ばれている。ドラゴネッティは、コントラバス、ヴァイオリン、チェロ、ハープ、ギター等を収集していたことでも知られている。日本音楽財団の購入直前には、世界的ヴァイオリン奏者フランク・ペーター・ツィンマーマン（1965～）によって演奏されていた。

2002 年 6 月に購入した。

Stradivarius 1702年製Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿（1825～1906）によって生涯大切にされていたため、現在この名前で呼ばれている。1964 年から1982 年にこの楽器を保管していたロンドンのW.E. ヒル& サンズ社が、1973 年に英国バースの古楽器名器展で、同店を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン（1920～2001）は、自身が所有しているグァルネリ・デル・ジェズと同じパワーを感じると語ったという。

2002 年 6 月に購入した。

Stradivarius 1708 年製 Violin "Huggins" 「ハギンス」

この楽器は、かつて有名な製作者で楽器商のジャン＝バティスト・ヴィヨームが所有していた。1880 年頃、ウィーンの楽器商ザックがW.E. ヒル& サンズ社に売却し、その後、イギリスの天文学者ウィリアム・ハギンス卿（1824～1910）が購入し、生涯所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。日本音楽財団は1997 年からベルギーのエリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次期コンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に購入した。

Stradivarius 1709 年製 Violin "Engleman" 「エングルマン」

この楽器は、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150 年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で医学の臨床教授のエフレイム・エングルマンが所有していたことから、現在はこの名前で親しまれている。

1996年5月に購入した。

Stradivarius 1710 年製 Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

この楽器は、1880 年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。彼は優れたアチュア演奏家で楽器収集家でもあった。1937 年には、クレモナ古楽器名器展に当時この楽器を所有していたキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていた。

2004年9月に購入した。

Stradivarius 1714 年製 Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1860年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板の

ニスと華麗な見栄えが、優美なイルカが光り輝いている様を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶストラディヴァリウスの三大名器の1つとされている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ（1901～1987）が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に購入した。

Stradivarius 1715 年製 Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、ハンガリー出身の名ヴァイオリン奏者ヨーゼフ・ヨアヒム（1831～1907）が所有していたストラディヴァリウス1715 年製ヴァイオリン3 挺の内の1 つである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・ダラーニ（d'Aranyi）に遺贈されたことから「ヨアヒム＝アラーニ」（Joachim-Aranyi）という名前でも知られている。日本音楽財団が購入 するまでは、アディラの遺族によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に購入した。

Stradivarius 1716 年製 Violin "Booth" 「ブース」

「ブース」という名前は、イギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女は1855 年頃にヴァイオリンの才能を発揮した2 人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクァルテットを形成しようと試み、フランスの高名な製作者で楽器商のジャン＝バティスト・ヴィヨーム（1798～1875）からこの楽器を購入した。1931 年にアメリカの有名なヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ（1895～1981）の手にわたり、1961 年にはニューヨークのヘンリー・ホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に購入した。

Stradivarius 1717 年製 Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845 年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことに因んでこの名前で呼ばれている。1894 年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906 年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、以後93 年間にわたり同家で大切に保管されていたため、オリジナルのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に購入した。

Stradivarius 1722 年製 Violin "Jupiter" 「ジュピター」

この楽器は、1800 年頃にイギリスの収集家ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。歴代の所有者にはカンポセリーチェ公爵のほかにW.E. ヒル& サンズ社、アマチュア奏者で医学の臨床教授のエフレイム・エング

ルマンが含まれる。大切に使用されてきたためオリジナルのニスが全体に残っており、保存状態の優れたストラディヴァリウス作の好例である。

1998年5月に購入した。

Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866 年以降、約30 年間この楽器を所有していたドイツの著名なヴァイオリン奏者アウグスト・ウィルヘルミ（1845～1908）に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミは、バッハの管弦楽作品を編曲した「G 線上のアリア」でも知られ、所有していた数多くのヴァイオリンのうちこの楽器を最も愛用していたが、「演奏者としてベストなうちに引退したい」との理由で、50 代の若さで手放したという。とても美しいストラディヴァリの代表的な作品で、音色も高く評価されている。

2001年6月に購入した。

Stradivarius 1735年製Violin "Samazeuilh" 「サマズィユ」

この楽器は、1836 年に楽器商のルイジ・タリシオ（1796～1854）によってイタリアからフランスへ持ち込まれ、1909 年にはサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。1923 年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシャ・エルマン（1891～1967）は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の 1 つ」と 1926 年に手紙に記している。楽器の内側のラベルには製作時の年齢である 91 歳と書かれている。

この楽器は、日本の篤志家からのご寄付と日本財団の助成により、2017 年 8 月に購入した。

Stradivarius 1736 年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

英国バーミンガムの有名な収集家でアマチュア・ヴァイオリン奏者のH.M. ムンツが1874 年から所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737 年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1 つとして知られ、楽器の内部には、ストラディヴァリが「d'anni 92（92 歳）」と書いたラベルが貼られている。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、保存状態も音色も格段に優れている。

1997年7月に購入した。

Stradivarius 1696 年製 Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」

イギリスのアマチュア奏者アイレスフォード卿が1780 年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ（1716～1796）から購入し、その後アイレスフォード家に約100 年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946 年には、当時アメリカ・フィラデルフィアに住んでいた世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー（1903～1976）の 手に渡り、1950 年から1965 年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル（1924～2013）によって演奏会や35 枚のレコーデ

ィングのために使用された。
2003年6月に購入した。

Stradivarius 1730 年製 Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したチェロのうち、現存するのは約50 挺といわれている。「フォイアマン」は、普通のチェロと比べ楽器本体の部分が細長い点が特徴である。世界的に活躍した名チェロ奏者のエマヌエル・フォイアマン（1902～1942）が1939 年から所有し、亡くなるまで世界各地で演奏、録音に使用したことから、この名前で呼ばれている。
1996年12月に購入した。

Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グァルネリ（愛称：グァルネリ・デル・ジェズ）（1698～1744）が製作したヴァイオリン。愛称に付けられた「デル・ジェズ（イエスの）」は、内側に貼られたラベルのイエス・キリストを表すIHS のモノグラムに由来している。ストラディヴァリウス 1736 年製 ヴァイオリンも所有していたイギリスのアマチュア奏者で収集家のムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。
1995年3月に購入した。

Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin "Ysaÿe" 「イザイ」

この楽器は、ベルギーを代表する世界的ヴァイオリン奏者で作曲家のウジェーヌ・イザイ（1858～1931）が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェズは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれており、イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した。その後、1965 年に巨匠アイザック・スターン（1920～2001）の所有となり、1998 年に日本音楽財団がこの楽器をスターンから購入した後も、彼が生涯に渡り愛用した。
1998年3月に購入した。

別紙 4

楽器名と被貸与者一覧

2026年3月31日現在

	楽器名	被貸与者	備考
貸与区分A、B（貸与期間7年以内）、貸与期間7年以上（旧長期貸与：貸与区分記載なし）			
	Stradivarius "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet	
1	1680年製 Violin "Paganini"	Pinchas Adt（Mr）	ﾐｭﾝﾍﾝ在住 貸与区分A
2	1727年製 Violin "Paganini"	Florian Schötz （Mr）	ｳﾞｭﾙﾂﾌﾞﾙｸ（ﾄﾞｲﾂ）在住 貸与区分A
3	1731年製 Viola "Paganini"	Christoph Vandory（Mr）	ﾐｭﾝﾍﾝ在住 貸与区分A
4	1736年製 Cello "Paganini"	Raphael Paratore（Mr）	ﾐｭﾝﾍﾝ在住 貸与区分A
5	Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti"	Jake Dongyoung Shim（Mr）	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ在住 貸与区分A
6	Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin"	Timothy Chooi（Mr）	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ在住 貸与区分A
7	Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim"	外村理紗（Ms）	ﾆｭｰﾖｰｸ在住（東京出身）貸与区分A 2022/1/12-2023/8/25 2023/8/25よりJoachim貸与
8	Stradivarius 1717年製 Violin "Sasserno"	毛利文香（Ms）	神奈川在住 貸与区分A
9	Stradivarius 1725年製 Violin "Wilhelmj"	金川真弓（Ms）	ﾍﾞﾙﾘﾝ在住（東京出身） 貸与区分A
10	Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh"	Lun Li（Mr）	ﾆｭｰﾖｰｸ在住 貸与区分A
11	Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz"	ﾌﾞﾘｭｯｾﾙ在住（兵庫出身） 貸与区分B	
12	Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford"	Zlatomir Fung（Mr）	ﾆｭｰﾖｰｸ在住 貸与区分A
13	Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann"	上野通明（Mr）	東京・ﾃﾞｭｯｾﾙﾄﾞﾌﾙ（ﾄﾞｲﾂ）在住 貸与区分A
14	Guarneri del Gesù 1740年製 Violin "Ysaÿe"	Benjamin Beilman（Mr）	ﾆｭｰﾖｰｸ在住 2016/12/7よりEngleman貸与 2022/6/6よりYsaÿe貸与
貸与区分C（周年記念コンサート、コンクール出場、録音目的等のための貸与、貸与期間1年以内）			
15	Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands"	大谷康子（Ms）	東京在住 ﾃﾞﾋﾞｭｰ50周年記念演奏会のため
16	Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman"	Boha Moon（Ms）	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ在住 録音、演奏活動、ｺﾝｸｰﾙ出場のため
17	Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice"	Sergej Krylov（Mr）	ﾄﾗｶｲ地区(ﾘﾄｱﾆｱ)在住 自身の楽器修理中の演奏活動のため
18	Guarneri del Gesù 1736年製 Violin "Muntz"	佐々木つくし（Ms）	ﾍﾞﾙﾘﾝ(ﾄﾞｲﾂ)・東京在住 ｺﾝｸｰﾙ出場、演奏活動のため
貸与終了等で保管中			
19	Stradivarius 1666年製 Violin "Alumnus Amati"		2026年2月購入
20	Stradivarius 1716年製 Violin "Booth"		貸与終了後、次の貸与まで財団で保管
21	Stradivarius 1722年製 Violin "Jupiter"		貸与終了後、次の貸与まで財団で保管
貸与区分D（エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー）優勝者への次期コンクール開催までの貸与）			
22	Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins"	Dmytro Udovychenko（Mr）	ｸﾛﾝﾍﾞﾙｸ（ﾄﾞｲﾂ）在住 2024年ｴﾘｻﾞﾍﾞｰﾄｺﾝｸｰﾙ優勝者

長期：区分A、B等14挺、短期：区分C4挺、貸与終了等で保管中の楽器3挺、コンクール：区分D 1挺

現在保有楽器　計22挺

上記のとおり2025年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2026（令和8）年5月29日

公益財団法人 笹 川 音 楽 財 団

理 事 長　　加　納　民　夫　　㊞

2025年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2026（令和8）年5月29日

監　事　　石　倉　康　弘　　㊞

監　事　　吉　村　貞　彦　　㊞